

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1. 編修の基本方針

○全ての内容を通して、教育基本法第2条各号に示された目標及び、高等学校学習指導要領に示された目標を達成できるよう教材を選択し、配列した。その中で特徴的な教材については「2. 対照表」に示した。

○「言葉の力を育み、最高品質の日本語の姿を伝える国語教科書」という理念に基づき編修した。

「言葉の力」とは…新しい自分の発見や、未知の世界との出会いにつながる、生きる糧となる力。

「最高品質の日本語」とは…世界の中の一言語であり、歴史と伝統を持つ日本語の、多種多様な表現から厳選した、論理的明晰さや情感豊かな美しさを持つ良質な日本語。

○上記の理念を具現化するために、本「言語文化」は、「我が国の言語文化の成り立ちを知る」というテーマに沿って編修し、生徒は「自分の言葉のルーツを知る」というゴールを目指せるようにした。

最終的には、高等学校における国語の学習を通して「『自分の言語文化』を築く」ことを目指している。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
はじめに	我が国の言語文化について書かれた文章を読むことで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにした。(第1号)	2 頁～5 頁
古文編	古文を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などについてまとめることで、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにした。(第1号)	18 頁～19 頁、22 頁～23 頁、26 頁～27 頁、40 頁～42 頁、51 頁～53 頁、95 頁～96 頁
	古文に関する近代以降の文章とコラムを採録することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにした。(第1号)	43 頁、54 頁～55 頁、71 頁、81 頁～83 頁、97 頁、105 頁
	我が国で長く読み継がれてきた優れた物語を採録し、人物の心情を読み取り、互いの解釈を認め合うことを通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培えるようにした。(第2号)	16 頁～25 頁、46 頁～50 頁、58 頁～70 頁、86 頁～94 頁

	単元の言語活動を設けることで、教材同士の有機的なつながりを意識するとともに、主体的に課題に取り組めるようにした。(第2号) 古人の思想や社会秩序に関する題材を採録し、先の見えない現代社会を生きるうえでその発展に寄与する態度を養えるようにした。(第3号) 古人の自然観に関する題材を採録し、生命を尊び、自然を大切にする態度を養えるようにした。(第4号) 我が国の言語文化に関して書かれた題材を採録し、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした。(第5号) 関心を持った我が国の古跡や伝統行事を題材として、随筆を書く活動を通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにした。(第5号)	28 頁、44 頁、56 頁、72 頁、84 頁、98 頁、111 頁～112 頁 30～35 頁、38 頁、74～82 頁 36～37 頁、100～107 頁 108～109 頁 111 頁～112 頁
漢文編	漢文を読むために必要な訓読のきまり、漢文特有の表現などについてまとめることで、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにした。(第1号) 漢文に関する近代以降の文章とコラムを採録することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにした。(第1号) 単元の言語活動を設けることで、教材同士の有機的なつながりを意識するとともに、主体的に課題に取り組めるようにした。(第2号) 古代中国の思想や社会秩序に関する題材を採録し、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号) 古代中国の史伝教材を採録し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学び、生命を尊ぶ態度を養えるようにした。(第4号) 四季や人生に関する題材を採録し、生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことができるようにした。(第4号) 漢文を学ぶ意義を解説した文章に触れることで、我が国の伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにした。(第5号)	117 頁～124 頁 127 頁、131 頁、144 頁～145 頁、162 頁～163 頁、174 頁～175 頁 125 頁、132 頁、146 頁、164 頁、176 頁 166 頁～176 頁 134 頁～143 頁 148 頁～155 頁 116 頁

近現代文編	幅広い知識と教養を身に付け、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うために、「明治期の文語文と口語文」のコラムを設けた。(第1号・第5号) 単元の言語活動を設けることで、教材同士の有機的なつながりを意識するとともに、主体的に課題に取り組めるようにした。(第2号) 真理を求める態度、豊かな情操、道徳心、自他の敬愛を重んずる態度を養うために、優れた複数の文学作品を採録し、理解を深める活動を設けた。(第1号・第3号) 死について考察する内容の文学作品を採録し、生命を尊ぶ態度を養えるようにした。(第4号) 伝統と文化を尊重する態度を養うために、近代の小説と中古の説話とを読み比べる活動を設けた。(第5号)	177 頁～180 頁 208 頁、232 頁、256 頁 182 頁～256 頁 196 頁～207 頁 194 頁～195 頁
詩歌編	古典和歌から近現代詩を通して学ぶことで、幅広い知識と教養、豊かな情操、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養えるようにした。(第1号・第5号) 単元の言語活動を設けることで、教材同士の有機的なつながりを意識するとともに、主体的に課題に取り組めるようにした。(第2号) 優れた和歌・俳諧・短歌・俳句・近現代詩の読解を通して、生命を尊び、自然を大切にすることを養えるようにした。(第4号) 折句の技法を用いて、短歌を作る活動を設けることで、創造性を培い、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにした。(第2号・第5号)	258 頁～298 頁 273 頁～274 頁、284 頁、298 頁 258 頁～264 頁、268 頁～272 頁、276 頁～282 頁、286 頁～292 頁、294 頁～297 頁 273 頁～274 頁
おわりに	「自分の文学史」を作る活動を通して、個人の価値を尊重し、創造性を培うことができるようにした。(第2号) 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うために、「文学史」という「歴史」について書かれた文章を採録し、より理解を深める活動を設けた。(第5号)	307 頁 299 頁～307 頁
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-249	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※ 教 科 書 名		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

- 全ての内容を通して、教育基本法第2条各号に示された目標及び、高等学校学習指導要領に示された目標を達成できるよう教材を選択し、配列した。
- 「言葉の力を育み、最高品質の日本語の姿を伝える国語教科書」という理念に基づき編修した。
「言葉の力」とは…新しい自分の発見や、未知の世界との出会いにつながる、生きる糧となる力。
「最高品質の日本語」とは…世界の中の一言語であり、歴史と伝統を持つ日本語の、多種多様な表現から厳選した、論理的明晰さや情感豊かな美しさを持つ良質な日本語。
- 上記の理念を具現化するために、本「言語文化」は、「我が国の言語文化の成り立ちを知る」というテーマに沿って編修し、生徒は「自分の言葉のルーツを知る」というゴールを目指せるようにした。
最終的には、高等学校における国語の学習を通して「『自分の言語文化』を築く」ことを目指している。

単元の構成

- 単元の構成は、古文編・漢文編・近現代文編・詩歌編の分野別とした。
- とりわけ詩歌編では、我が国の上代から近現代までの詩歌を、ジャンルと時代のまとまりごとに学習できるようにした。
- 教材は、「言語文化」が、中学校三年間の国語学習の延長上にあり、義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るという見地から、教材選択に当たっては、読解に困難を伴うもの、語句・表現の理解に抵抗の多い教材はできるだけ避けるよう配慮した。また、二次元コードを示し、教材に関連する音声を用意した。

〔知識及び技能〕

- 「深い学びのために」の主に「言葉と表現」で、言葉の特徴や使い方に関する問題と、語句や文法の知識を整理する問題を設けた。
- 注の欄に、古文・古典詩歌（和歌・俳諧）、漢文では、重要単語を掲げ、付録にそれぞれ「重要古語の解説および索引」「漢文の重要単語」を設けた。さらに漢文編では、重要句形を掲げ、付録に「漢文の基本句形」を設けた。
古文編では、「古文を読むために」を設け、古文の読解に資するように、文語の決まりをまとめた。
これらにより古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解できるようにした。
- 近現代の文章・詩歌（短歌・俳句・近現代詩）では、知っておきたい語句、慣用句などを掲げ、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにできるようにした。
- 近現代文編の文章の末尾に「漢字熟語」、付録に「常用漢字表」を設け、「現代の国語」の指導との関連も図りながら、常用漢字の学習に資するようにした。
- 「付録」に「読書のすすめ」を設け、読書の意義と効用について理解を深める助けとした。

〔思考力・判断力・表現力等〕

- 「A書くこと」「B読むこと」については、「深い学びのために」の主に「学習のポイント」と「言語活動」、各単元のまとめとなる「単元の言語活動」で実践的な活動を設けた。
- 「深い学びのために」の「言語活動」と「単元の言語活動」では、学習指導要領に示された、「言語活動例」に即して、「2. 対照表」に示した実践的な活動を設けた。その際、〔知識及び技能〕との関連を図れるよう配慮した。また、分野や単元を超えた、有機的なつながりを意識し、より深い学びを達成できるよう配慮した。
- 「A書くこと」については、我が国の言語文化について考察し、考察した内容を効果的に書く能力を養える活動を設けた。
- 「B読むこと」については、古文編と漢文編に、古典に関連する近代以降の文学的な文章を掲げ、古典教材をより深く理解する助けとした。
- 教科書の最初に「はじめに」として、これから学習する我が国の言語文化について、生徒が興味を抱いて学習することができる文章を掲げた。さらに、最後に「おわりに」として、我が国の伝統と文化に関する近代以降の文章を掲げ、これまで学習したことを振り返りながら、主体的に我が国の言語文化についての理解を深められるようにした。

〔学びに向かう力・人間性等〕

- 下記のような自ら学び続ける工夫を施した。
 - ・「単元扉」を設け、単元のねらいを示し、学習を見通すだけでなく、学習を振り返る際にも役立つようにした。
 - ・「深い学びのために」「単元の言語活動」を通して、各領域の指導事項・言語活動を主体的・対話的に学習できるようにし、我が国の言語文化について、自ら学び続けられるように工夫した。

以上の〔知識及び技能〕〔思考力・判断力・表現力等〕〔学びに向かう力・人間性等〕を支援することにより、生涯にわたる社会生活に必要な資質・能力を確実に育成できる教科書である。

2. 対照表

図書の構成・内容			学習指導要領の内容								該当箇所	配当時数				
			知識及び技能	思考力判断力表現力		内容の取扱い				A		B				
				A 書くこと	B 読むこと	(1)	(2)	(3)	(4)			古典	近代以降			
平安京条坊図・大内裏・内裏		(1)								見返し 1						
		(2)	イ													
京都付近図		(1)								見返し 2						
		(2)	イ													
旧国名・都道府県名対照図		(1)								見返し 3						
		(2)	イ													
はじめに	小石を集める	(1)	ア							P. 2～5						
		(2)	ア													
1 古文入門	宇治拾遺物語 児のそら寝	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ			P. 16～17	2				
		(2)	イ	ウ	エ			イ								
	古文を読むために 1	(1)		ウ		ア		イ			P. 18～19					
		(2)		ウ	エ											
	絵仏師良秀	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ			P. 20～21					
		(2)	イ	ウ	エ											
	古文を読むために 2	(1)		ウ		ア		イ			P. 22～23					
		(2)		ウ	エ											
	十訓抄 大江山	(1)	ア	ウ	エ	オ	ア	イ	エ	オ	イ			P. 24～25		
		(2)	イ	ウ	エ											
古文を読むために 3	(1)		ウ		ア		イ			P. 26～27						
	(2)		ウ	エ												
単元の言語活動 1 声に出して古文を読む	(1)	ア	ウ	エ		ア	ウ			P. 28	1					
	(2)		ウ	エ		ア		イ	イ							
2 随筆	徒然草 亀山殿の御池に	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	ウ	オ	イ	P. 30～31	2			
		(2)	イ	ウ			イ									
	大事を思ひ立たん人は	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	ウ	オ	イ	P. 32～33				
		(2)	イ	ウ			イ									
	奥山に猫またといふものありて	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	ウ	オ	イ	P. 34～35				
		(2)	イ	ウ			イ									
	花は盛りに	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	ウ	オ	イ	P. 36～38				
		(2)	イ	ウ			イ									
	参考 つれづれなるままに	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ			イ	P. 38～39				
		(2)	イ	ウ												
古文を読むために 4	(1)		ウ	エ		ア				イ	P. 40～42					
	(2)		ウ													
古文の窓 1	(1)					ア				イ	P. 43					
	(2)	イ														
単元の言語活動 2 作者の主張を読み取る	(1)	ア	ウ	エ		ア			オ		P. 44	1				
	(2)	イ				イ										
3 物語 1	竹取物語 かぐや姫の生ひ立ち	(1)	ア	ウ	エ	オ	ア	イ	エ		イ	イ	P. 46～48	2		
		(2)	イ	ウ												
	かぐや姫の嘆き	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	エ		イ		P. 48～50			
		(2)	イ	ウ												
	古文を読むために 5	(1)		ウ		ア				イ		P. 51～53				
		(2)		ウ	エ											
	古文の窓 2	(1)					ア			イ		P. 54～55				
	(2)	イ														
単元の言語活動 3 月が詠まれた和歌を鑑賞する	(1)	ア				イ	エ	オ			P. 56	1				
	(2)	イ						オ								
4 物語 2	伊勢物語 芥川	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	エ		イ		P. 58～60	3		
		(2)	イ	ウ	エ		イ									
	東下り	(1)	ア	ウ	エ	オ	ア	イ	エ		イ		P. 60～63			
		(2)	イ	ウ	エ											
	筒井筒	(1)	ア	ウ	エ	オ	ア	イ	エ		イ		P. 64～66			
		(2)	イ	ウ	エ		ウ									
	読み比べ 沖つ白浪（『大和物語』）	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	エ		イ		P. 67～68			
		(2)	イ	ウ	エ		ウ									
	梓弓	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	エ		イ		P. 69～70			
		(2)		ウ	エ											
古文の窓 3	(1)								イ		P. 71					
	(2)	イ														
単元の言語活動 4 視点を変えて、物語を書き換える	(1)	ア				イ		オ			P. 72	1				
	(2)					エ										
5 日記	土佐日記 門出	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	エ		イ	イ	P. 74～76	3		
		(2)		ウ	エ	オ										
	阿倍仲麻呂	(1)	ア	ウ	エ	オ	ア	イ	エ		イ		P. 77～78			
		(2)	ア	ウ	エ	オ										
	帰京	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	エ		イ		P. 79～80			
		(2)		ウ	エ	オ										
	男の文章と女の文章	(1)	ア	ウ	エ		ア		エ	イ	イ	ア	P. 81～82			
		(2)		ウ	エ	オ										
古文の窓 4	(1)	ア	ウ						イ	イ	P. 83					
	(2)	イ	ウ	エ	オ											
単元の言語活動 5 変体仮名を読む	(1)										P. 84	1				
	(2)	イ				ア										
6 物語 3	平家物語 木曾の最期	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	エ		イ		P. 86～93	2		
		(2)		ウ	エ	オ										
	参考 祇園精舎	(1)	ア	ウ	エ		ア	イ	エ		イ	イ	ア			P. 94
		(2)		ウ	エ	オ										
	古文を読むために 6	(1)		ウ		ア				イ		P. 95～96				
		(2)		ウ	エ	オ										
	古文の窓 5	(1)								イ		P. 97				
	(2)	イ			オ											

	単元の言語活動6 人物の心情を想像して「木曾の最期」を脚本化する	(1)	エ オ		イ オ		イ		P. 98		1	
		(2)	ウ		オ							
7 近世の文学	おくのほそ道 旅立ち	(1)	ア ウ エ		ア イ エ		イ	イ	P. 100～101	2		
		(2)	ア ウ エ									
	平泉	(1)	ア ウ エ		ア イ エ		イ		P. 103～104			
		(2)	ア ウ エ									
	古文の窓6	(1)				イ			P. 105			
		(2)	イ									
	種の浜	(1)	ア ウ エ		ア イ エ		イ		P. 106～107			
		(2)	ウ エ									
	玉勝間 田舎に雅言の残れること	(1)	ア ウ エ		ア イ		イ		P. 108～110			
		(2)	ウ エ									
	単元の言語活動7 歴史を再発見し、随筆を書く	(1)	ア	ア イ		ア		ア	P. 111～112	2		
		(2)		ア								
	文学と芸能	(1)	エ		エ オ	イ			P. 113～114		1	
		(2)	イ									
1 漢文入門	なぜ漢文を学ぶのか	(1)	ア		オ				P. 116	1		
		(2)	ア エ									
	訓読の世界	(1)	ア ウ		ア		イ		P. 117～123			
		(2)	ア ウ エ									
	漢和辞典の使い方	(1)	ア ウ				イ		P. 124	1		
		(2)	ウ エ									
	単元の言語活動1 熟語の意味「創作」ゲームを行う	(1)	ウ		オ		イ		P. 125	2		
		(2)	ウ		オ							
	故事成語 蛇足	(1)	ウ エ		イ		イ		P. 126～127			
		(2)	ウ エ		イ							
	漢文の窓1	(1)	ウ			イ			P. 127	2		
		(2)	イ									
	朝三暮四	(1)	ウ エ		イ		イ		P. 128～129			
		(2)	ウ エ		イ							
	断腸	(1)	ウ エ		ア イ オ		イ		P. 130			
		(2)	イ ウ エ		エ							
	漢文の窓2	(1)				イ			P. 131	1		
		(2)	エ									
	単元の言語活動2 故事成語を「五・七・五」で表現する	(1)	ア ウ		オ				P. 132			
		(2)	ア ウ エ		オ							
2 史伝	十八史略 先従隗始	(1)			ア イ		イ		P. 134～135	3		
		(2)	ウ エ		イ							
	鶏口牛後	(1)	ウ		ア		イ		P. 136～137			
		(2)	イ ウ		イ							
	管鮑之交	(1)	イ ウ		ア イ		イ		P. 138～139			
		(2)	ウ		イ							
	臥薪嘗胆	(1)	ウ		ア イ		イ		P. 140～143			
		(2)	ウ		イ							
	中国英傑伝	(1)			ア イ エ	イ		ア	P. 144～145	1		
		(2)	イ									
	単元の言語活動3 登場人物の魅力を紹介する	(1)			イ				P. 146		1	
		(2)	イ		イ							
3 詩文	詩 春曉・参考 春あけぼの・江南・秋風引・江雪	(1)	イ ウ		ア イ オ		イ		P. 148～149	4		
		(2)	ウ		イ							
	送元二使安西・勸酒・参考 コノサカヅキヲ・涼州詞・静夜思	(1)			イ ウ		イ		P. 150～151			
		(2)	ウ		イ							
	春望・八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九	(1)	ウ		ア イ ウ エ		イ		P. 152～153			
		(2)	ア イ ウ		イ							
	富士山・鳥見塞宮	(1)	ア ウ		ア イ ウ エ		イ	ア	P. 154～155			
		(2)	ア イ ウ		イ							
	漢詩の手引き	(1)					イ		P. 156～157			
		(2)	イ ウ エ									
	文 雑説	(1)	ウ		ア イ ウ		イ		P. 158～159			
		(2)	ウ		イ							
	春夜宴桃李園序	(1)	ウ エ		ア ウ エ		イ		P. 160～161			
		(2)	ア イ ウ		ウ							
	名月——八月の詩	(1)			ア イ オ	イ		ア	P. 162～163			
		(2)	イ									
	単元の言語活動4 漢詩漢文の表現の特徴をつかむ	(1)	ア		ウ エ		イ		P. 164	1		
		(2)	ア イ ウ		ア							
4 思想	論語	(1)	ウ		イ		イ	イ	P. 166～171	3		
		(2)	ウ エ		イ							
	慎思録	(1)	エ		ア イ ウ エ		イ	ア	P. 172～173			
		(2)	ア ウ		イ							
	笑話出思録	(1)	ウ エ		イ ウ		イ	ア	P. 173～174			
		(2)	ウ		イ							
	知るといふこと	(1)	イ エ		ア オ	イ		ア	P. 174～175			
		(2)	ア									
	単元の言語活動5 『論語』の言葉を今に生かす	(1)			ウ オ				P. 176	1		
		(2)	ア		イ							
	参考 明治期の文語文と口語文	(1)	ア		ア			ア	P. 177～180			1
		(2)	ア エ オ									
1 近代1	羅生門	(1)	ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 182～194	2		
		(2)	ア		ウ							
	読み比べ 「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語」(『今昔物語集』)	(1)	ア ウ エ		ア イ ウ エ				P. 195			
		(2)	イ エ		ウ							
	城の崎にて	(1)	ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 196～207			
		(2)	ア									
	単元の言語活動1 フィクションの特性を話し合う	(1)	ア エ		イ ウ				P. 208			1
		(2)	ア エ		イ							

2 近代2	待つ	(1)	ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 210～214			2	
		(2)	ア										
	うそとパン	(1)	ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 215～220				
		(2)	ア										
	写真班	(1)	ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 221～231				
		(2)	ア										
3 現代	青が消える	(1)	ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 234～242			2	
		(2)	ア										
	離さない	(1)	ア イ ウ エ		ア イ ウ エ		ア		P. 243～255				
		(2)	ア										
	単元の言語活動2 作家の工夫を意識して文章を書く	(1)	ア エ		ウ				P. 232				
		(2)	ア エ		イ								
1 和歌・短歌	和歌	(1)	ア イ ウ オ		ア イ ウ エ		イ		P. 258～264		3		
		(2)	イ ウ										
	和歌の修辞	(1)	ア ウ オ		イ ウ		イ		P. 265～266				
		(2)	ウ										
	詩歌の窓	(1)	ア オ		ア イ ウ エ		イ		P. 267				
		(2)	イ ウ										
	短歌	(1)	ア ウ オ		ア イ ウ エ				P. 268～272				
		(2)	ア										
	単元の言語活動1 折句の技法を用いて、短歌を作る	(1)	ア オ	ア			ア		P. 273～274			3	
		(2)	ア エ	ア									
2 俳諧・俳句	俳諧	(1)	ア ウ オ		ア イ ウ エ		イ		P. 276～277		1		
		(2)	イ ウ										
	俳句	(1)	ア ウ オ		ア イ ウ エ				P. 278～282				
		(2)	ア										
	俳句の修辞	(1)	ア オ		ア イ ウ エ				P. 282				
		(2)	ア エ										
	俳句の英訳	(1)	ア オ		イ	ウ		ア	P. 283				
		(2)	ア エ										
単元の言語活動2 H A I K Uを鑑賞する	(1)	ア オ		オ				P. 284		1			
	(2)	ア エ		エ									
3 近現代詩	小景異情	(1)	ア ウ		ア イ ウ エ				P. 286～287			2	
		(2)	ア										
	およぐひと	(1)	ア ウ		ア イ ウ エ				P. 288				
		(2)	ア										
	永訣の朝	(1)	ア ウ		ア イ ウ エ				P. 289～292				
		(2)	ア エ										
	参考 人生の〈救い〉としての詩	(1)	ア		オ	ウ			P. 293				
		(2)	ア カ										
	汲む	(1)	ア ウ		ア イ ウ エ				P. 294～297				
		(2)	ア エ										
おわりに	単元の言語活動3 文語定型詩と口語自由詩を読み比べる	(1)	ア オ		イ オ				P. 298			1	
		(2)	ア エ		オ								
	大人にはわからない日本文学史	(1)	ア イ ウ エ		ア イ ウ エ オ	ウ	ア	ア	P. 299～306			1	
		(2)	ア カ										
	単元の言語活動 「自分の文学史」を作る	(1)	ア		オ				P. 307			1	
		(2)	ア エ		ア								
付録	文法要覧	(1)							P. 308～317				
		(2)	ウ										
	日本文学史年表	(1)							P. 318～326				
		(2)	ア										
	重要古語の解説および索引	(1)							P. 327～332				
		(2)	ウ										
	漢文の基本句形	(1)							P. 333～334				
		(2)	ウ										
	漢文の重要単語	(1)							P. 335～336				
		(2)	ウ										
	常用漢字表・常用漢字表付表	(1)	イ				ア	ア	P. 337～351				
		(2)											
	読書のすすめ	(1)							P. 352～355				
		(2)	カ										
参考図録	(1)							P. 356～359					
	(2)	イ											
古典参考図録		(1)						口絵1～口絵3					
		(2)	イ										
近代の文学 人と作品		(1)						口絵4～見返し4					
		(2)	エ										
中国新旧参考地図		(1)						見返し5～6					
		(2)	イ										
									領域別計	5	45	20	
									計	70			

「3 内容の取扱い(4)」のアについては、教材全体を通して、対応するよう配慮し、とりわけ、日本漢文、近代以降の文語文、近代以降の漢詩文、我が国の伝統と文化や古典に関連する近代以降の文章、伝統芸能などに関する音声に該当する教材についてのみ記入した。イウエオについては、関連する教材全体をととして、対応するよう配慮した。

常用漢字以外の使用漢字一覧表

芥	龍	之	叡	嫗	蜻	蛉	簾	昌	卿	已	隴	阿	陀	梢	逢	茅	柴	檉
3	3	3	16	18	18	18	23	24	25	26	27	34	34	36	36	36	37	37
濡	閨	硯	婉	笠	琵琶	祇	饅	讚	裳	灸	嘉	鳳	閨	朔	晦	桂	壬	
37	37	38	40	42	42	42	43	43	46	47	51	54	54	54	54	54	54	54
岑	斧	栗	蕪	臥	伊	胡	籛	藹	蜘蛛	駿	蔦	楓	嶺	嘴	鳴	匙	筍	
54	54	55	55	56	58	58	58	59	60	60	61	61	61	62	62	62	65	65
椀	櫛	梓	楓	戌	蕎	楚	茹	壽	數	寵	巴	綾	鎧	鍬	籐	葦	鞍	鐙
68	68	69	69	74	83	83	83	84	84	86	86	86	86	86	86	86	86	87
斐	栗	馳	娑	塵	秦	趙	莽	梁	昇	祿	撥	芭	蕉	栖	霞	墅	雛	庵
87	89	91	94	94	94	94	94	94	94	94	96	100	100	100	100	100	100	100
啼	耀	夷	叢	卯	頰	薨	霽	佗	萩	賤	汀	渚	廻	碇	狗	吾	其	於
101	103	103	103	103	104	104	106	106	106	108	113	114	114	114	118	119	119	120
而	謂	矣	焉	朋	惟	蓮	祠	卮	曰	乃	寓	宋	亦	俄	匱	馴	也	誑
120	120	120	120	120	122	125	126	126	126	126	127	128	128	128	128	128	128	128
亨	乎	桓	蜀	伍	援	黜	隗	燕	涓	豈	哉	趨	洛	蘇	并	莫	擯	鄙
128	128	130	130	130	130	130	134	134	134	135	135	135	136	136	136	137	137	137
諺	鮑	姜	襄	魯	傅	莒	弑	嘗	鉤	賈	怯	匡	闔	廬	胥	奢	誅	郢
137	138	138	138	138	138	138	138	138	138	138	139	139	140	140	140	140	140	140
饑	于	椒	棲	妾	詬	坐	范	蠡	譖	鏤	檟	抉	剉	尸	鴟	憐	聚	姑
140	140	140	141	141	141	141	142	142	142	142	142	142	142	142	142	142	142	142
幘	讐	俱	熙	憮	鷹	嗜	敲	孟	浩	鶯	磨	杜	劉	禹	錫	蕭	雁	蹤
142	144	145	145	145	145	145	146	148	148	148	148	148	149	149	149	149	149	149
蓑	渭	浥	卮	鱗	翰	葡	萄	李	牀	甫	濺	烽	搔	渾	簪	闕	巔	淵
149	150	150	150	150	151	151	151	151	151	152	152	152	152	152	152	153	154	154
紉	醬	烏	輦	晤	玻	聯	頷	頸	仄	愈	爛	雖	祇	駢	槽	櫪	或	鳴
154	154	154	154	154	154	156	156	156	157	157	157	158	158	158	158	158	158	159
秉	燭	慚	瓊	筵	觴	楨	誦	慍	罔	殆	誨	悱	譬	簣	罕	辰	斯	孰
160	160	161	161	161	161	162	162	166	166	166	166	167	167	167	167	167	168	168

[illegible]

音訓一覧表

竹取	たけとり	2	斎部	いんべ	47	夜半	よは	65
愛しい	いとしい	3	帝	みかど	48	生駒	いこま	65
介	すけ	3	八月十五日	はづきもち	48	葛城	かつらき	67
児	ちご	16	侍	はべ	49	装束	さうぞく	67
出	い	16	来	こ	49	垣間	かいま	68
給ふ	たまふ	18	得	う	51	王	おほきみ	68
誰	たれ	19	千年	ちとせ	51	後	しり	69
大路	おほち	20	兼	かね	52	指	および	69
衣	きぬ	20	源氏	げんじ	53	離	か	69
妻	め	20	壬生忠岑	みぶのただみね	54	光	ひかる	71
煙	けぶり	20	源道済	みなもとのみちなり	54	後朝	きぬぎぬ	71
悪	あ	20	明	みん	55	単	ひとえ	71
小式部内侍	こしきぶのないし	23	薄	すすき	55	三日夜	みかよ	71
御	み	23	謝	さ	55	露頭	ところあらわし	71
寝	ぬ	23	山茶花	さざんか	55	令	りょう	71
訓	きん	24	月待	つきまち	55	紀貫之	きのつらゆき	74
和泉	いづみ	24	天保	てんぼう	55	十二月	しはす	74
保	やす	24	高輪	たかなわ	55	県	あがた	74
歌合	うたあはせ	24	行灯	あんどん	55	館	たち	74
定頼	さだよりの	24	提灯	ちょうちん	55	二十三日	はつかあまりみか	75
局	つばね	24	立待	たちまち	56	守	かみ	75
直衣	なほし	24	有明	ありあけ	56	二十四日	はつかあまりよか	75
往	い	26	大江	おおえの	56	講師	かうじ	75
徒然	つれづれ	30	清原深養父	きよはらのふかやぶ	56	童	わらは	75
銭	あし	30	伊勢	いせ	58	阿倍	あべの	77
本意	ほい	32	率	ゐ	58	三十日	みそか	77
財	たから	32	后	きさき	59	寝	い	77
弥	み	34	御	おほん	59	唐土	もろこし	77
胆	きも	34	兄人	せうと	59	漢詩	からうた	77
希	け	35	大臣	おとど	59	給	た	77
詞書	ことばがき	36	経	つね	59	賞	め	78
傾	かたぶ	36	内裏	うち	59	疾	と	80
望月	もちづき	36	東	あづま	60	破	や	80
椎	しひ	37	八	やつ	60	治	おさむ	81
打消	うちけし	40	乾飯	かれいひ	61	小説	フィクション	82
妹	いも	41	駿河	するが	61	菅原孝標	すがわらのたかすえ	82
清盛	きよもり	42	修行者	すぎやうぎ	62	女	むすめ	82
春日	かすが	42	富士	ふじ	62	枕	まくらの	82
受身	うけみ	42	武蔵	むさし	62	麦	ば	83
更級	さらしな	42	下総	しもつふさ	62	曾	そ	86
和琴	わごん	42	守	もり	62	源義仲	みなもとのよしなか	86
園	をん	43	魚	いを	62	頼朝	よりとも	86
主	あるじ	43	経	ふ	64	範	のり	86
職	そく	44	河内	かふち	64	今井四郎	いまいのしろう	86
翁	おきな	46	郡	こほり	64	左馬頭	さまのかみ	86
讃岐	さぬき	46	前栽	せんざい	65	直垂	ひたたれ	86
造	みやつこ	46	粧	さう	65	威	をどし	86
籠	こ	46	浪	なみ	65	甲	かぶと	86

重	しげ	86	僕	しもべ	106	損シテ	へらシテ	128
伊予	いよの	87	海人	あま	106	充タセリ	みタセリ	128
甲	か	87	花	け	106	若ニ	なんぢニ	128
一条次郎	いちでうのじらう	87	勝	がつ	108	朝ニ	あしたニ	128
兵衛佐	ひやうゑのすけ	87	本居宣長	もとをりのりなが	108	中ニ	うちニ	130
土肥	とひの	87	雅	みやび	108	縁リテ	よりテ	130
実	さね	87	雅	みや	108	跳リテ	をどりテ	130
主従	しゅうじゅう	87	選	え	109	便即チ	すなはチ	130
奉	たてま	88	在原	ありわら	113	従リ	より	134
恩田	おんだの	88	業	なり	113	為リ	たり	134
師	もろ	88	石上	いそのかみ	113	卑クシ	ひくクシ	134
手塚	てづかの	88	古	ふ	113	与ニ	ともニ	134
候	さうら	89	睦	む	113	雪ガンコト	すすガンコト	134
乳母	めのと	90	弓	ゆん	114	視セ	しめセ	134
見参	げんざん	90	馬	め	114	事フルヲ	つかフルヲ	134
入相	いりあひ	91	物	もつの	114	古	いにしへ	134
石田	いしだの	92	知	とも	114	使ムル	シムル	134
為	ため	92	平	ぺい	114	況ンヤ	いはンヤ	135
真	まつ	92	易シ	やすシ	118	是ニ	ここニ	135
剛	かう	92	難シ	かたシ	118	往キテ	ゆキテ	136
猛	たけ	94	不	ず	118	与	と	136
将	まさ	94	以テ	もつテ	118	若クハ	シクハ	137
慶	ぎやう	94	禍ヲ	わざはひヲ	118	六	りく	137
純	すみ	94	為ス	なス	118	寧ロ	むしろ	137
信	のぶ	94	易ク	やすク	118	為ルトモ	なルトモ	137
前太政	さきのだいじやう	94	不レバ	ぎレバ	118	奔ル	はしル	138
平朝臣	たひらのあつそん	94	如カ	シカ	119	為リ	なり	138
為	し	95	悪ム	にくム	119	召ク	まねク	138
百	はく	100	是ヲ	これヲ	120	中ツ	あツ	138
去年	こぞ	100	視レドモ	みレドモ	120	怨ミヲ	うらミヲ	138
股引	ももひき	100	未ダ…ず	いまダ…ず	122	字ハ	あざなハ	138
杉	さん	100	将ニ…スルヲ	まさニ…スルヲ	122	貧ト	たんト	138
谷	や	101	当ニ…ベシ	まさニ…ベシ	122	則チ	すなはチ	139
住	ぢゆ	101	猶ホ…ごとシ	なホ…ごとシ	122	父	ほ	139
秀衡	ひでひら	103	宜シク…ベシ	よろシク…ベシ	122	員ヲ	うんヲ	140
泰	やす	103	須ラク…ベシ	すべかラク…ベシ	122	以キテ	ひきキテ	140
兵	つはもの	103	賜フ	たまフ	126	伐ツ	うツ	140
毛	が	103	画キテ	ゑがキテ	126	復タ	また	140
良	ら	103	為リ	つくり	126	邪	か	140
棺	ひつぎ	104	先ゾ	まゾ	126	敗ル	やぶル	140
七宝	しつぱう	104	且ニ…す	まさニ…す	126	句	こう	141
珠	たま	104	能ク	よく	126	賂ヲ	まひなひヲ	141
金	こがね	104	固ヨリ	もとヨリ	126	赦サシム	ゆるサシム	141
記念	かたみ	104	安クンゾ	いづクンゾ	126	反ルヤ	かヘルヤ	141
種	いろ	106	遂ニ	つひニ	126	即チ	すなはチ	141
走	は	106	終ニ	つひニ	126	女	なんぢ	141
破	わり	106	亡ヘリ	うしなヘリ	126	属シ	しよくシ	142
小竹筒	ささえ	106	狙ヲ	さるヲ	128	種ニ	しょうニ	142

謀ノ	はかりごとノ	142	幾何ゾ	いくばくゾ	160	銀	かね	177
樹エヨ	うエヨ	142	良ニ	まことニ	160	出	いだ	177
可キ	ベキ	142	以	ゆゑ	160	宜く	よく	177
観ント	みント	142	仮スニ	カスニ	160	叱	し	177
命ケテ	なづケテ	142	転タ	うたタ	161	造	ぞ	177
北グ	にグ	142	如シ	もシ	161	申	もうし	177
成ヲ	たひらぎヲ	142	依ラン	よラン	161	追	おひ	177
可カ	きカ	142	藤原公任	ふじわらのきんとう	162	最	たゞ	178
宴	うたげ	144	下関	しものせき	163	免し	ゆるし	178
共	ども	144	卑くて	ひくくて	163	唯	たゞ	178
痛めば	やめば	144	陰りがち	くもりがち	163	現	うつゝ	178
随ひて	したがひて	144	説バシカラ	よろこバシカラ	166	我	わが	178
瀬	らい	145	自リ	より	166	枯	かれ	178
益々	ますます	145	故キヲ	ふるキヲ	166	怖る	おそる	178
八十	はつしん	148	復セ	ふたたびセ	167	唯だ	ただ	178
何レノ処ヨリカ	いづレノところヨリカ	149	止ムハ	やムハ	167	又た	また	178
須キ	もちキ	150	覆スト	くつがヘスト	167	悩ゆる	もだゆる	178
発キテ	ひらキテ	150	共ルガ	めぐルガ	167	空しく	むなしく	178
除	よ	150	道クニ	みちびクニ	168	彼	か	178
伏	ぶせ	150	斉フルニ	ととのフルニ	168	頬	けう	178
催ス	うながス	151	格ル	いたル	168	紅ひ	くれなひ	178
回ヘル	かヘル	151	対ヘテ	こたヘテ	168	勉めて	つとめて	179
看ル	みル	151	帥キルニ	ひきキルニ	168	仮り	かり	179
是レ	こレ	151	敢ヘテ	あヘテ	168	等	ら	179
頭ヲ	かうベヲ	151	鮮シ	すくなシ	169	止せ	よせ	179
低レテ	たレテ	151	曾	そう	169	帳	や	179
抵タル	あタル	152	順フ	したがフ	169	窃	そツ	179
勝ヘ	たヘ	152	上ニ	ほとりニ	170	毎時	いつも	179
憶フ	おもフ	153	夫	かな	170	牡丹花	ぼたんのはな	179
竜	りよう	154	舎カ	おカ	170	灯籠	とうろ	179
如ク	ごとク	154	葉	せふ	170	米	よね	179
倒ニ	さかしまニ	154	語ゲテ	つゲテ	170	染	ぞめ	179
鳥児塞	ウエルサイユ	154	直キ	なほキ	170	振	ふり	179
想フ	おもフ	154	所以	ゆゑん	172	縮	ぢり	179
曾テ	かつテ	154	否ザル	しからザル	172	猶	なほ	179
過リ	よぎり	154	克ク	よく	172	怖く	こはく	179
平	ひよう	157	念フ	おもフ	172	墮ち	おち	179
然ル	しかル	158	乾	いぬゐ	173	苦み	くるしみ	179
食フ	やしなフ	158	壊	ゑ	173	家	うち	179
見レ	あらはレ	158	胡為レゾ	なんすレゾ	173	御	お	179
策ウツニ	むちウツニ	159	止メテ	やメテ	173	二陰鬼	ふたりのいふれい	179
能ハ	あたハ	159	実ニ	まことニ	173	貴嬢	あなた	180
呼	あ	159	所謂	いはゆる	173	入	いれ	180
夫レ	そレ	160	銜学者	ペダンティスト	175	三	ぞう	180
者	は	160	灯	どう	177	感染れ	かぶれ	180
逆	げき	160	浮	うき	177	畏縮	いじけ	180
若シ	ごとシ	160	行	ゆき	177	暴れ	あれ	180
為スコト	なスコト	160	此処	こゝ	177	眼	め	180

若し	もし	180	斑	ふ	198	小野	をのの	261
然う	そう	180	太宰	だざい	210	良岑宗貞	よしみねのむねさだ	262
課せ	おほせ	180	文	あや	215	御手洗	みたらし	262
始	はじめ	180	愉しく	たのしく	215	魂	たま	262
倒た	たふれた	180	伸子	のぶこ	217	男	をのこ	262
起	おき	180	訪い	とい	219	後鳥羽	ごとば	262
堺	ざかひ	180	掌	て	223	俊成	としなり	263
放心	うつかり	180	後退り	あとしがり	223	家隆	いへたか	263
何時	いつ	180	判	わか	224	式	しよく	264
眠つた	ねふつた	180	下駄	げた	229	掛	かけ	265
当らう	あたらう	180	樹	き	230	立	たて	267
昇	のぼる	180	繁	しげ	230	尽	づくし	267
丹	に	182	被	かぶ	239	竹杖為輕	たけつえのすがる	267
円	まる	182	哀し	かなし	240	洒落	しゃれ	267
朱雀	すぎく	182	画	え	243	晶	あき	268
烏帽子	えぼし	182	質	たち	244	終て	はて	269
料	しろ	182	削	そ	246	玄鳥	つばくらめ	270
申	さる	184	停	と	251	屋梁	はり	270
暇	いとま	184	蒲生野	かまふの	258	足乳根	たらちね	270
築土	ついじ	185	遊獵	みかり	258	最上	もがみ	270
山吹	やまぶき	185	額田王	ぬかたのおほきみ	258	史	ふみ	270
汗衫	かざみ	185	標	しめ	258	万	ま	271
聖柄	ひじりづか	186	大海人皇子	おほあまのみこ	258	暮	くれ	276
檜皮	ひわだ	188	我	あれ	258	飯田	いいだ	278
弾	はじ	189	輕	かるの	258	男	お	279
鶏	とり	190	柿本朝臣	かきのもとのあそみ	258	赤	か	280
検	け	190	東	ひむがし	258	立	たつ	280
奪	と	191	山部宿禰	やまべのすくね	259	能	の	280
太刀帶	たてわき	191	地	つち	259	辺	なべ	281
疫病	えやみ	191	神	かむ	259	胡桃	くるみ	281
洞	とう	193	山上	やまのうへの	259	陽炎	かげろう	281
城	せい	195	臣	おみ	259	長谷	はせ	283
層	こし	195	我	あ	259	生	う	286
語	こと	195	児	こ	259	乞食	かたゐ	286
白髪	しらが	195	大伴家持	おほとものやかもち	260	心臓	こころ	288
奪	ば	195	防人	さきもり	260	瞳	め	288
葬り	はうぶり	195	幸く	さく	260	聖い	きよい	292
城	き	196	言葉	けとば	260	資糧	かて	292
但馬	たじま	196	則	のり	260	振	ふる	294
城崎	きのさき	196	藤原敏行	ふぢはらのとしゆき	261	始る	はじまる	295
穫り	とり	196	源宗子	みなもとのむねゆき	261	墮ち	おち	295

出典一覧表

申請図書			出典					備考
ページ	名称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
15	不動明王二童子像	絵画						Cynet Photo U19110000001
16～21	宇治拾遺物語 児のそら寝 絵仏師良秀	国語教材	「新日本古典文学大系」42	24～25 82～83		岩波書店	1990年	
16	慕帰絵詞	絵画						Cynet Photo T45110000001
21	不動明王像（良秀様）	絵画						Cynet Photo U48110000001
24～25	大江山	国語教材	「新編日本古典文学全集」51	122～123		小学館	1997年	
24	天の橋立	写真						フォトライブラリー ID:976068
29	奈良絵本『徒然草』	絵画						名古屋市蓬左文庫
30～38	徒然草 51段 59段 89段 137段 序段	国語教材	「新編日本古典文学全集」44	121～122 128～129 151～152 188～190 81		小学館	1985年	
30	石山寺縁起	絵画						国立国会図書館
33	徒然草絵巻	絵画						Cynet Photo Y55110000006
34	奈良絵本『徒然草』	絵画						名古屋市蓬左文庫
37	奈良絵本『徒然草』	絵画						名古屋市蓬左文庫
39	嵯峨本『徒然草』	写真						国立国会図書館
45	竹取物語絵巻	絵画						国立国会図書館
46～50	竹取物語 かぐや姫の生ひ立ち かぐや姫の嘆き	国語教材	「新日本古典文学大系」17	3～5 62～64		岩波書店	1997年	
47	竹取物語絵巻	絵画						国立国会図書館
55	江戸名所図会	写真						国立国会図書館
57	燕子花図屏風（尾形光琳筆）	絵画						Cynet Photo W53110000003
58～70	伊勢物語 6段 9段 23段 24段	国語教材	「新日本古典文学大系」17	84～85 87～89 104～106 106～108		岩波書店	1997年	

58～59	伊勢物語絵巻（模本）	絵画						Cynet Photo Z39110000039
61	伊勢物語図屏風	絵画						Cynet Photo T46110000001
61	かきつばた	写真						フォトライブラリー ID:530725
63	奈良絵本『伊勢物語』	絵画						国文学研究資料館
63	都鳥(ゆりかもめ)	写真						PIXTA 55054001
64	奈良絵本『伊勢物語』	絵画						國學院大學図書館
67～68	沖つ白浪	国語教材	「新編日本古典文学全集」12	381～383		小学館	1994年	
70	異本伊勢物語絵巻（模本）	絵画						東京国立博物館
73	北野天神縁起絵巻	絵画						Cynet Photo Z31110000002
74～80	土佐日記 門出 阿倍仲麻呂 帰京	国語教材	「新日本古典文学大系」24	3～4 16～18 32～33		岩波書店	1989年	
77	光琳かるた（尾形光琳筆）	絵画						Cynet Photo U41110000001
81～82	男の文章と女の文章	国語教材	「これで古典がよくわかる」	57～59	橋本治	筑摩書房	2001年	
84	藤原為家自筆嘉禎二年古写本 『土佐日記』	写真						Cynet Photo U20110000001
86～94	平家物語 木曾の最期 祇園精舎	国語教材	「新日本古典文学大系」44、45 (45) (44)	131～135 5		岩波書店	1993年 1991年	
88	絵本『平家物語』	絵画						明星大学図書館
91	平家物語絵巻	絵画						Cynet Photo Z39110000040
92	平家物語絵巻	絵画						Cynet Photo Z39110000040
94	太平記絵巻	絵画						Cynet Photo U97110000001
99	芭蕉行脚図（森川許六筆）	絵画						Cynet Photo U45110000002
99	本居宣長（望月春江筆）	絵画						Cynet Photo U98110000001
100～106	おくのほそ道 旅立ち 平泉 種の浜	国語教材	「日本古典文学大系」46	70～71 84～85 98		岩波書店	1959年	
103	芭蕉が訪れた当時の姿を残す旧 鞆堂	写真						
104	卯の花	写真						フォトライブラリー ID:3367850
105	中尾本	写真						中尾松泉堂/岩波書店
105	曾良本	写真						Cynet Photo U45110000001

106	色浜	写真						Cynet Photo ASA110004689
106	ますほの小貝	写真						Cynet Photo U39110000001
108～109	田舎に雅言の残れること	国語教材	「日本思想大系」40	235		岩波書店	1978年	
114	碓を掲げる知盛（義経千本桜）	写真						Cynet Photo U51110000001
115	天文二年泉南阿佐井野氏刊本 『論語』	写真						東洋文化研究所
115	改正音訓四書正文『論語』	写真						東京都立中央図書館
126	蛇足	国語教材	「新釈漢文大系・戦国策上」	403～404		明治書院	1977年	
128	朝三暮四	国語教材	「新釈漢文大系・列子」	123～124		明治書院	1967年	
129	猿図（福田柳濤筆）	絵画						東京国立博物館
130	断腸	国語教材	「新釈漢文大系・世説新語下」	1095		明治書院	1978年	
131	お米の話	国語教材	「新装愛蔵版 魯山人著作集 第三巻 料理論集」	145	北大路魯山人	五月書房	1997年	
131	北大路魯山人	写真						Cynet Photo U52110000001
131	三国志	国語教材	「吉川英治歴史時代文庫36 三国志」 (四)	306	吉川英治	講談社	1989年	
131	吉川英治	写真						日本近代文学館
131	日本経済新聞2019年7月13日	国語教材	「日本経済新聞」2019年7月13日朝刊	15面		日本経済新聞社	2019年7月13日	
133	越王句踐	絵画						Cynet Photo CPC110000033
134～143	十八史略 先從隗始 鷄口牛後 管鮑之交 臥薪嘗胆	国語教材	「新釈漢文大系・十八史略上」	140～142 110～111 113～114 58～60		明治書院	1967年	
143	越王句踐の剣	写真						Cynet Photo CPC110000035
144～145	中国英傑伝	国語教材	「中国英傑伝」	290～291	海音寺潮五郎	文藝春秋	1971年	
148	春暁	国語教材	「新釈漢文大系・唐詩選」	617		明治書院	1964年	
148	春あけぼの	国語教材	「鶯の卵 新訳中国詩選」（筑摩叢書 296）	3	土岐善麿	筑摩書房	1985年	
148	江南春	国語教材	「箋解古文真宝後集・増註三体詩・箋 解唐詩選」（漢文大系2）	5		富山房	1910年	
149	秋風引	国語教材	「新釈漢文大系・唐詩選」	645～646		明治書院	1964年	
149	江雪	国語教材	「唐詩三百首」3（東洋文庫）	27～28		平凡社	1975年	
150	送元二使安西	国語教材	「箋解古文真宝後集・増註三体詩・箋 解唐詩選」（漢文大系2）	34		富山房	1910年	
150	勸酒	国語教材	「新釈漢文大系・唐詩選」	650		明治書院	1964年	
150	コノサカヅキヲ受ケテクレ…	国語教材	「厄除け詩集」	53	井伏鱒二	講談社	1994年	
151	涼州詞	国語教材	「唐詩三百首」3（東洋文庫）	60		平凡社	1975年	
151	静夜思	国語教材	「新釈漢文大系・唐詩選」	606		明治書院	1964年	
152	春望	国語教材	「唐詩三百首」2（東洋文庫）	43		平凡社	1975年	

152	西安城（長安城）の城壁	写真						pixta_25475453
153	八月十五日夜、禁中独直、 対月憶元九	国語教材	「新釈漢文大系・白氏文集」 3	120		明治書院	1988年	
154	富士山	国語教材	「江戸詩人選集」 一	3		岩波書店	1991年	
154	鳥児塞宮	国語教材	「江戸詩人選集」 十	282		岩波書店	1990年	
154	マリー・アントワネット	絵画						Cynet Photo AGE112427335
158～159	雑説	国語教材	「新釈漢文大系・唐宋八家文読本」 一	95		明治書院	1976年	
160～161	春夜宴桃李園序	国語教材	「新釈漢文大系・古文真宝後集」	101～102		明治書院	1963年	
160	桃李園図軸	絵画						東京国立博物館
162～163	名月——八月の詩	国語教材	「漢詩逍遙」	37～39	一海知義	藤原書店	2006年	
165	杏壇礼楽図	絵画						Cynet Photo CPC110000034
166～171	論語	国語教材	「新釈漢文大系・論語」	15・49・52・ 53・165・ 209・37・39・ 265・273・ 19・20・40・ 140・208・ 293・351・355		明治書院	1960年	
167	杏壇	写真						pixta_3832180
169	孔子像	絵画						Cynet Photo TPG110000394
170	子在川上（范曾筆）	絵画						Cynet Photo U50110000001
172	慎思録	国語教材	正徳四年刊本					
173	笑話出思録	国語教材	宝暦五年刊本					
174～175	知ること	国語教材	「論語と私」	149～151	金谷治	展望社	2001年	
177	大つごもり	国語教材	「樋口一葉全集 第一巻」	389～390	樋口一葉	筑摩書房	1974年	
178	我牢獄	国語教材	「明治の文学 第16巻」	337～338	島崎藤村・北村透谷	筑摩書房	2002年	
179	敢て同胞兄弟に望む	国語教材	「紫琴全集 全一巻」	243～244		草土文化	1983年	
179	怪談牡丹灯籠	国語教材	「円朝全集 第一巻」	49～50		岩波書店	2012年	
180	新編浮雲	国語教材	「二葉亭四迷全集 第一巻」	170～171	二葉亭四迷	筑摩書房	1984年	
181	大正中期の銀座	写真						京橋図書館
182～193	羅生門	国語教材	「芥川龍之介全集 第1巻」	145～154	芥川龍之介	岩波書店	1995年	
183	市女笠の女・揉烏帽子の男 （「粉河寺縁起絵巻（模 本）」）	絵画						東京国立博物館
183	羅城門の復元模型	写真						Cynet Photo Y40110000002
185	平安京	絵画			黒澤達矢			Cynet Photo U99110000001
186	羅城門渡辺綱鬼腕斬之図	絵画			月岡芳年			国立国会図書館
187	やもり	写真						フォトライブラリー ID:528391

191	墓	写真						PIXTA 34663318
193	芥川龍之介	写真						日本近代文学館
195	羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語	国語教材	「新編日本古典文学全集」38	346～347		小学館	2002年	
196～206	城の崎にて	国語教材	「小僧の神様 他十篇」	108～117	志賀直哉	岩波書店	2002年	
196	当時の山の手線車両	写真						Cynet Photo U12110000001
197	城崎温泉全景	写真						amanaimages 26009001588
197	やまめ	写真						満タンweb
200	城崎温泉街と大谿川	写真						Cynet Photo THI110041244
204	いもり	写真						フォトライブラリー ID:325519
206	志賀直哉	写真						日本近代文学館
209	街頭テレビに群がる人々	写真						Cynet Photo ASA110004684
210～213	待つ	国語教材	「太宰治全集6」	35～38	太宰治	筑摩書房	1998年	
211	『女性』表紙	写真						日本近代文学館
214	太宰治	写真						日本近代文学館
215～219	うそとパン	国語教材	「幸田文全集 5」	321～325	幸田文	岩波書店	1995年	
216	女学校の風景	写真						弥生美術館
219	幸田文	写真						Cynet Photo ASA110004687
221～230	写真班	国語教材	「梅崎春生全集 3」	413～418	梅崎春生	沖積舎	1984年	
222	鳥打ち帽	写真						Cynet Photo TPG110000368
223	昭和30年代の家	写真						昭和の暮らし博物館
224	写真機と三脚	写真						Cynet Photo ASA110004683
226	上がり框と土間	写真						江戸東京博物館
228	チャブ台	写真						Cynet Photo WHI110000003
229	棟木	写真						Cynet Photo IMN000000030
231	梅崎春生	写真						Cynet Photo ASA110004688
233	渋谷のスクランブル交差点	写真						Cynet Photo THI110030579
240	東京タワー付近の夜景	写真						Cynet Photo TPG110000399
234～241	青が消える	国語教材	「村上春樹全作品 1」	275～282	村上春樹	講談社	2002年	
242	村上春樹	写真						朝日新聞社 P150226000163
243～254	離さない	国語教材	「神様」	151～172	川上弘美	中央公論社	1998年	
255	川上弘美	写真						産経新聞社
257	元暦校本万葉集	写真						東京国立博物館
258	あかねさす…	国語教材	「新編日本古典文学全集」6	36～37		小学館	1994年	

258	紫の…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 6	37		小学館	1994年	
258	東の…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 6	52		小学館	1994年	
258	額田王	絵画			安田靱彦			Cynet Photo T47110000001
258	紫草	写真						フォトライブラリー ID:4438418
259	天地の…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 6	197～198		小学館	1994年	
259	田子の浦ゆ…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 6	198		小学館	1994年	
259	憶良らは…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 6	206		小学館	1994年	
259	多摩川に…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 8	465		小学館	1995年	
260	うらうらに…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 9	364		小学館	1996年	
260	父母が…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 9	393		小学館	1996年	
260	袖ひちて…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 11	31		小学館	1994年	
260	ひさかたの…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 11	59		小学館	1994年	
261	五月待つ…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 11	78		小学館	1994年	
261	秋来ぬと…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 11	89		小学館	1994年	
261	ちはやぶる…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 11	131		小学館	1994年	
261	山里は…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 11	138		小学館	1994年	
261	思ひつつ…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 11	221		小学館	1994年	
261	橘の花	写真						PIXTA 11926527
262	天つ風…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 11	331		小学館	1994年	
262	もの思へば…	国語教材	「新日本古典文学大系」 8	378		岩波書店	1994年	
262	見渡せば山もと…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 43	32		小学館	1995年	
262	和泉式部	絵画			佐多芳郎			Cynet Photo T48110000001
263	薄く濃き…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 43	42		小学館	1995年	
263	誰かまた…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 43	85		小学館	1995年	
263	見渡せば花も…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 43	117		小学館	1995年	
263	志賀の浦や…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 43	189		小学館	1995年	
263	三夕図	絵画						東京国立博物館
264	玉の緒よ…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 43	305		小学館	1995年	
264	風になびく…	国語教材	「新編日本古典文学全集」 43	468		小学館	1995年	
267	絵本見立仮譬尽	写真						国立国会図書館
268	くれなゐの…	国語教材	「日本の詩歌3」	85	正岡子規	中央公論社	1975年	
268	いちはつの…	国語教材	「日本の詩歌3」	88	正岡子規	中央公論社	1975年	
268	清水へ…	国語教材	「日本の詩歌4」	107	与謝野晶子	中央公論社	1975年	
268	やは肌の…	国語教材	「日本の詩歌4」	114	与謝野晶子	中央公論社	1975年	
268	いちはつ	写真						フォトライブラリー ID:3750676
269	白鳥は…	国語教材	「日本の詩歌4」	203	若山牧水	中央公論社	1975年	
269	幾山河…	国語教材	「日本の詩歌4」	233	若山牧水	中央公論社	1975年	
269	いのちなき…	国語教材	「日本の詩歌5」	8	石川啄木	中央公論社	1974年	
269	ふるさとの訛なつかし…	国語教材	「日本の詩歌5」	153	石川啄木	中央公論社	1974年	

270	のど赤き…	国語教材	「日本の詩歌8」	73	斎藤茂吉	中央公論社	1975年	
270	玄鳥	写真						フォトライブラリー ID:3897218
270	最上川…	国語教材	「日本の詩歌8」	87	斎藤茂吉	中央公論社	1975年	
270	野に捨てた…	国語教材	「齋藤史全歌集」	159	齋藤史	大和書房	1997年	
270	水滴より…	国語教材	「齋藤史全歌集」	632	齋藤史	大和書房	1997年	
271	ふるさとの訛りなくせし…	国語教材	「現代歌人文庫③寺山修司歌集」	12	寺山修司	国文社	1983年	
271	マッチ擦る…	国語教材	「現代歌人文庫③寺山修司歌集」	43	寺山修司	国文社	1983年	
271	太陽が…	国語教材	「歌集 未青年」	12	春日井建	短歌新聞社	2000年	
271	母にはじまり…	国語教材	「歌集 未青年」	36	春日井建	短歌新聞社	2000年	
271	「この味が…	国語教材	「サラダ記念日 俵万智歌集」	125	俵万智	河出書房新社	1987年	
271	「寒いね」と…	国語教材	「サラダ記念日 俵万智歌集」		俵万智	河出書房新社	1987年	
274	「西日本新聞」2014年6月21日 「春秋」	国語教材	「西日本新聞」2014年6月21日「春秋」			西日本新聞社	2014年6月21日	
275	草花帖	写真			正岡子規			国立国会図書館
276	かれ枝に…	国語教材	「新日本古典文学大系」70	115		岩波書店	1990年	
276	発句画賛（芭蕉・許六画）	絵画						Cynet Photo U21110000001
276	山路来て…	国語教材	「日本古典文学大系」45	63		岩波書店	1962年	
276	旅に病んで…	国語教材	「日本古典文学大系」45	216		岩波書店	1962年	
277	春の海…	国語教材	「日本古典文学大系」58	57		岩波書店	1959年	
277	五月雨や…	国語教材	「日本古典文学大系」58	91		岩波書店	1959年	
277	牡丹散つて…	国語教材	「日本古典文学大系」58	125		岩波書店	1959年	
277	有明や…	国語教材	「日本古典文学大系」58	347		岩波書店	1959年	
277	これがまあ…	国語教材	「日本古典文学大系」58	355		岩波書店	1959年	
277	痩せ蛙…	国語教材	「日本古典文学大系」58	331		岩波書店	1959年	
278	いくたびも…	国語教材	「子規句集」	200	正岡子規	岩波書店	1941年	
278	遠山に…	国語教材	「日本の詩歌3」	249	高浜虚子	中央公論社	1975年	
278	うしろすがたの…	国語教材	「山頭火句集」	33	種田山頭火	筑摩書房	1996年	
278	たましひの…	国語教材	「飯田蛇笏全句集」	57	飯田蛇笏	角川学芸出版	2016年	
279	湯豆腐や…	国語教材	「久保田万太郎全句集」	256	久保田万太郎	中央公論社	1976年	
279	滝落ちて…	国語教材	「水原秋桜子集」	146	水原秋桜子	朝日新聞社	1984年	
279	雪はげし…	国語教材	「橋本多佳子全句集」	119	橋本多佳子	角川学芸出版	2018年	
279	白梅や…	国語教材	「永田耕衣俳句集成 而今・只今」	962	永田耕衣	沖積舎	2013年	
279	秋の暮…	国語教材	「西東三鬼全句集」	259	西東三鬼	角川学芸出版	2017年	
279	万緑の…	国語教材	「中村草田男集」	64	中村草田男	朝日新聞社	1984年	
280	炎天の…	国語教材	「山口誓子集」	90	山口誓子	朝日新聞社	1984年	
280	蝶墜ちて…	国語教材	「富澤赤黄男 高屋窓秋 渡邊白泉集」 （文庫）	32	富沢赤黄男	朝日新聞社	1985年	
280	囀りを…	国語教材	「俳句大観」	469	星野立子	明治書院	1971年	
280	百代の…	国語教材	「加藤楸邨句集」（文庫）	484	加藤楸邨	岩波書店	2012年	

280	春ひとり…	国語教材	「自註現代俳句シリーズ・Ⅱ期30 野村登四郎集」	57	能村登四郎	俳人協会	1979年	
280	胸の上に…	国語教材	「石田波郷集」(文庫)	80	石田波郷	朝日新聞社	1984年	
281	戦争が…	国語教材	「富澤赤黄男 高屋窓秋 渡邊白泉集」(文庫)	231	渡辺白泉	朝日新聞社	1985年	
281	彎曲し…	国語教材	「金子兜太全句集」	143	金子兜太	立風書房	1975年	
281	一月の…	国語教材	「森澄雄 飯田龍太集」(文庫)	278	飯田龍太	朝日新聞社	1984年	
281	胡桃割る…	国語教材	「自選自解 鷹羽狩行句集」	41	鷹羽狩行	白鳳社	1992年	
281	陽炎より…	国語教材	「萬の翅」	157	高野ムソオ	角川学芸出版	2013年	
283	俳句の英訳	国語教材	「古池に蛙は飛びこんだか」	164～166	長谷川權	中央公論社	2013年	
285	萩原朔太郎『月に吠える』の口絵	写真			田中恭吉			Cynet Photo U49110000001
286～287	小景異情	国語教材	「定本 室生犀星全詩集 第一巻」	58～59	室生犀星	冬樹社	1978年	
287	室生犀星	写真						amanaimages 23007002069
288	およぐひと	国語教材	「萩原朔太郎詩集」	37	萩原朔太郎	思潮社	1975年	
288	萩原朔太郎	写真						amanaimages 23007002073
289～292	永訣の朝	国語教材	「新校本 宮澤賢治全集 2」	138～140	宮沢賢治	筑摩書房	1995年	
293	宮沢賢治	写真						Cynet Photo T02110000001
293	人生の〈救い〉としての詩	国語教材	「鮎川信夫著作集 3」	357～358	鮎川信夫	思潮社	1975年	
294～296	汲む	国語教材	「茨木のり子詩集」	52～53	茨木のり子	思潮社	1969年	朝日新聞社
296	茨木のり子	写真						Cynet Photo ASA110003928
300	映画「ビートルズがやって来るヤァ!ヤァ!ヤァ!」ポスター	写真						Cynet Photo CNT110000004
306	高橋源一郎	写真						amanaimages 23007002244
299～306	大人にはわからない日本文学史	国語教材	大人にはわからない日本文学史	1～7	高橋源一郎	岩波書店	2009年	

※ 上記以外の写真・挿絵・地図等は自社作成のものである。

(備考) 1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称(版次を含む。)、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

- (2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作者に支払う必要があることに留意すること(別途契約を締結する場合を除く)。

備考4の内容について確認しました。



原典に加除訂正を加えた箇所

教材名	加除訂正を加えた所		原典	教科書	加除訂正の理由
	原典	教科書			
竹取物語	P.3(2行)	P.46(3行)	さかきの造	讃岐の造	教育上の配慮
伊勢物語	P.104(7行)	P.64(9行)	筒井つの井筒にかけし	筒井筒井筒にかけし	教育上の配慮
	P.105(10行)	P.65(6行)	心にくもつくりけれ、…	心にくもつくりけれ、…	教育上の配慮
大和物語	P.383(3～4行)	P.68(10行)	つつましく立てりける。	つつましく立てりけり。	教育上の配慮
	P.383(6行)	P.68(12行)	手づから飯もりをりける。	手づから飯盛りをりけり。	教育上の配慮
平家物語	P.131(14行)	P.87(8行)	蜘蛛	蜘蛛手	教育上の配慮
	P.5(6行)	P.94(5行)	梁の周伊	梁の朱异	教育上の配慮
おくのほそ道	P.70(4行)	P.100(5行)	蜘蛛	蜘蛛	教育上の配慮
	P.85(3～4行)	P.104(4～5行)	…薨を覆て風雨を凌。暫時千歳の記念とはなれり。	…薨を覆ひて風雨をしのぎ、しばらく千歳の記念とはなれり。	教育上の配慮
玉勝間	P.235(2行)	P.108(1行)	みなかにいにしへの雅言のこころ事	田舎に雅言の残れること	教育上の配慮
鶏口牛後	P.110(17行)	P.136(5行)	游	遊	教育上の配慮
管鮑之交	P.86(7行)	P.138(2行)	齊姜姓、太公望呂尚之所封也。後世至桓公霸諸侯。	齊姜姓。至桓公霸諸侯。	学習の負担を軽くするため
	P.87(6行)	P.138(9行)	仲	管仲	教育上の配慮
臥薪嘗胆	P.58(14行)	P.114(3行～4行)	擧伍員謀國事。	呉王闔廬、挙伍員謀国事。	教育上の配慮
中国英傑伝	P.290(上4行)	P.144(上6行)	闔廬は伯を受入て、大夫とした。	闔廬は伯を受け入て、大夫とした。	教育上の配慮
	P.290(上6行)	P.144(上8行)	闔廬へもよく取りなした。	闔廬へもよくとりなした。	教育上の配慮
	P.290(下4行)	P.144(下13行)	越鳥は南に向ひて巢くふ	越鳥は南に向かひて巢くふ	教育上の配慮
	P.290(下9行)	P.145(上2行)	越燕は日に向ひて熙ぶ	越燕は日に向かひて熙ぶ	教育上の配慮
	P.290(下12行)	P.145(上5行)	伯にたいする気持です。	伯にたいする気持ちです。	教育上の配慮
春夜宴桃李園序	P.101(16行)	P.161(3行)	花	華	編者の校訂による
名月——八月の詩	P.38(1行)		二千里外の故人の心	二千里外故人の心	教育上の配慮
	P.38(3行)		八月十五日の夜、禁中にて独り直し	八月十五日夜、禁中に独り直し	教育上の配慮
	P.38(8行と9行に間に挿入)		—	(月が本当に明るく美しく輝いて出てきたので、〈光源氏は〉今夜は十五夜であったよとお思い出しになって、宮中殿上の間での詩歌管弦の宴が恋しく思われて、今頃はみやこのあの方この方が物思いにふけておいでであろうよと想像なさるにつけても、月の顔ばかりをおのずと見つめ続けていらっしゃる。〈光源氏〉「二千里外故人心。」と声に出して吟じられると、例によって涙も抑えられない。)	教育上の配慮
	P.38(5行)		猶お想う 清光 同じく見ざることを	猶お恐る 清光 同じくは見ざるを	教育上の配慮
	P.38(6行)		秋陰足し	秋陰足る	教育上の配慮
笑話出思録	P.13(9行)	P.173(6行)	納	納	教育上の配慮
	P.14(1行)	P.173(7行)	異	夷	教育上の配慮
知ること	P.149(14行)	P.174(上10行)	学びて時にこれを習う、また悦ばしからずや	学びて時に之を習う、亦説ばしからずや	教育上の配慮
	P.150(7行)	P.175(上1行)	「知るを知るとなし、	「之を知るを之を知るとなし、	教育上の配慮
羅生門	P.153(1行)	P.192(1行)	思はぬよ。	思わぬぞよ。	教育上の配慮
城の崎にて	P.111(6～7行)	P.199(16行)	「范の犯罪」	『范の犯罪』	教育上の配慮
	P.111(7行)	P.199(16行)	支那人	中国人	教育上の配慮
待つ	P.38(末尾)	P.213(15行)		(十七年一月)	教育上の配慮(初出に拠る)
青が消える	P.273	P.234	青が消える(Losing Blue)	青が消える	教育上の配慮

	P. 277(1行) ～P. 282(9 行)	P. 234(1行) ～P. 241(15 行)		会話文の最後の句点を省略	著者の希望による
	P. 281(7行)	P. 240(7行)	NEC	N社	教育上の配慮
離さない	P. 151(1行) ～P. 172(15 行)	P. 243(上段1 行)～P. 254 (下段16行)		会話文の最後の句点を省略	教育上の配慮
	P. 170(7行)	P. 253(下段2 行)	めくらめっぽう	削除	教育上の配慮
◆折句の技法を用い て、短歌を作る	12行	P. 274(下段1 3行)	W杯	W杯(サッカーのワールドカッ プ)	教育上の配慮
	15行～17行	P. 274(下段1 5行)	おもしろいので小欄もまねし てみた。5行目から行頭を横 に読んでみてほしい	(中略)	教育上の配慮
	25行	P. 274(下段2 1行)	詩人の技にはかぶとを脱ぐ	詩人の技にはかぶとを脱ぐ。	教育上の配慮
	25行～31行	P. 274(下段2 1行)の後	「どうして…つ・な・い・だ」	削除	教育上の配慮
「かれ枝に…」の句	P. 115(1行)	P. 276(2行)	かれ朶に	かれ枝に	教育上の配慮
「たましひの…」の句	P. 57(1行)	P. 278(4行)	ほたる哉	ほたるかな	教育上の配慮
俳句の英訳	P. 164(1行)	P. 283(上段1 行)	かれ朶に	かれ枝に	教育上の配慮
	P. 164(2行～ 5行)	P. 283(上段2 行)の前	前章では、…英訳につい て。	削除	教育上の配慮
	P. 164(6行～ 7行)	P. 283(上段3 行)「R・Hブライ ス」の後	Reginald Horace Blyth 一 八九八—一九六四)	削除	教育上の配慮
	P. 164(7行) ～P. 165(3 行)	P. 283(上段3 行)「その一 人。」の後	イギリスに生まれ、…葬られ ている。	削除	教育上の配慮
	P. 165(4行～ 6行)	P. 283(上段3 行～4行)「その 代表的著作」の 後	『HAIKU』(北星堂書店)…こ の	削除	教育上の配慮
	P. 165(6行)	P. 283(上段4 行)	かれ朶に	かれ枝に	教育上の配慮
	P. 165(12行 ～13行)	P. 283(上段1 0行)	かれ朶に	かれ枝に	教育上の配慮
	P. 166(1行)	P. 283(上段1 2行)	かれ朶に	かれ枝に	教育上の配慮
	P. 166(4行)	P. 283(下段2 行)	かれ朶に	かれ枝に	教育上の配慮
	P. 166(6行～ 7行)	P. 283(下段4 行)	意味になることは前章で、書 いたとおりである。	意味になる。	教育上の配慮
大人にはわからない 日本文学史	P. 6(14行)	P. 305(10行) 「わたしは、」の 後	この本の中で、	削除	教育上の配慮
	P. 7(7行～9 行)	P. 306(2行) の後	もちろん、…遊んでいって ください。	削除	教育上の配慮

ウェブページのアドレス等の掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考にする情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	94	二次元コード	自社作成	自社ページURL	『平家物語』『祇園精舎』の平曲の音声。	別紙1添付音声

(備考)

申請図書中に発行者が管理するウェブページのアドレス又は二次元コードその他のこれに代わるものを掲載する場合に、本表を以下のとおり作成する。

- 1「申請図書」の欄については次のとおりとする。

①「番号」の欄は、複数のページ等に掲載されたウェブページのアドレス等が同一のウェブページを参照させる場合、一つの番号にまとめて記入する。

②「ページ」の欄は、ウェブページのアドレス等の申請図書における掲載ページを示す。

③「種別」の欄は、URL、二次元コード等の別を示す。
- 2「学習上の参考にする情報」の欄については次のとおりとする。

①「参照先」の欄には、発行者のページから参照させる学習上の参考にするページを作成する団体名などを記入する。

②「URL」の欄には、実際に参照させる学習上の参考にするページのURLを記載する。なお、参照先が発行者の作成したページである場合は、「自社ページURL」と記入する。

③「概要」欄には、参照先における情報の内容を簡潔に記入する。
- 3申請図書中のウェブページのアドレス等が参照させるウェブページの画面を印刷した紙面には、対応する本表の番号を紙面右上に付記し、本表に添付すること。
- 4学習上の参考にする情報を示すウェブページが発行者において作成したページの場合、参照先のウェブページの画面を印刷した紙面を、本表に添付すること。その際、「備考」の欄に「別紙1添付」などと記載し、印刷した紙面右上に「別紙1」などと記入すること。

本サイトのコンテンツは、当該の検定教科書を学校内での授業や自宅等での個人学習で使用する際の教材に関する参考情報として当社が用意したものです。この範囲外での利用はご遠慮ください。

平曲『平家物語』「祇園精舎」（語り：館山甲午）

▶ 0:00 / 5:37 ———▶ 🔊 ⋮

▶を押すと再生します。||を押すと停止します。



【著作権について】

本サイトに掲載されている音声、画像などのコンテンツの著作権および著作人格権は、当社または各コンテンツの権利者に帰属しています。

これらのコンテンツの複製、改変、公衆送信（送信可能化を含みます）、上映、頒布（譲渡・貸与）、翻案、翻訳などは、著作権法で認められる場合を除き、当社および各コンテンツの権利者から事前の承諾を得ることなく行うことはできません。

なお、（許可のない）本サイトへのリンクについてはご遠慮ください。